

17世紀ヴェーン宮廷からの贈り物

ヤコブ・ルートヴィヒ手稿譜(1662)の器楽作品

出演◆慶應義塾大学コレギウム・ムジクム古楽アカデミー(ヒリオド楽器使用)

全体指導・チェンバロ◆石井 明

◆プログラム

アントニオ・ベルターリ(1605-1669)、ヨハン・ハインリヒ・シュメルツァー(1623-1680)等による器楽作品

ヤコブ・ルートヴィヒ手稿譜(*Partiturbuch Ludwig*)とは

ドイツ・ゴータの音楽家であったヤコブ・ルートヴィヒ(1623-1698)によって、1662年に、かつての羅い主であったブラウンシュヴァイク・ヴォルフエンビュッテル公アウグスト2世の83歳の誕生日に献呈された手稿譜。114曲という膨大な数の器楽作品が収められている。その大半は当時のヴェーン宮廷の音楽家たちによって作曲されている。その一方で、17世紀半ばにドイツで活躍していた、今日ではほとんど知られていない作曲家の作品も多数含まれている。

2016年7月3日(日) 14時開演(13時30分開場) 入場無料 事前申し込み不要

藤原洋記念ホール(慶應義塾大学日吉キャンパス協生館内)

アクセス: 東急東横線・東急目黒線・横浜市営地下鉄グリーンライン 日吉駅 徒歩1分

【主催】慶應義塾大学教養研究センター・日吉 行事企画委員会(HAPP)/ 慶應義塾大学日吉音楽学研究室
【問い合わせ】慶應義塾大学日吉音楽学研究室 045-566-1359 <http://musicology.hc.keio.ac.jp/>